

2024年取組一覧(欧州)

ウズベキスタン

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本車展示

スロバキア

天皇誕生日祝賀レセプションに際したトヨタ水素自動車の展示

ブルガリア

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本企業製品P R

ブルガリア

日本文化月間の開催

ポルトガル

講演会での日本企業GX 分野の活動紹介

【日本企業の広報】 天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本車展示(ウズベキスタン)

開催日: 令和6年2月22日

場 所: タシケント市内ホテル

主 催: 在ウズベキスタン日本国大使館

協力・参加: サミットモーターズ(住友商事の現地トヨタ車販売事業会社)、
伊藤忠商事、SamAuto社(伊藤忠商事・いすゞが出資する現地自動車製造会社)

在ウズベキスタン大使館



- 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、当地にて日本ブランド車を販売又は製造する日本関連企業の参加を得て、トヨタ車2台及びいすゞ車1台を会場に展示し、日本ブランド車の広報を行った。
- レセプションには、ホジャーエフ副首相を始めとするウズベキスタン政府関係者、当地で活動する外交団、企業関係者、教育・学術及び文化等関係者等300名を超える来場者があり、展示車両に対しても関心が多く寄せられた。



【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションに際したトヨタ水素自動車の展示(スロバキア)

在スロバキア大使館

開催日: 令和6年2月19日

場 所: プラチスラバ市内

主催(共催): トヨタ・スロバキア

【概要】

- 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションに際し、当地トヨタの協力を得て、水素を燃料とする乗用車「MIRAI」を2台展示。
- EU加盟国として2035年までに新車販売の全EV化という目標に賛同しつつ、国の主要産業である自動車産業(国民1,000人あたりの自動車生産数は世界一)の保全の重要性も認識される当地で、代替燃料としての水素技術の紹介及び関心惹起の機会として活用。
- 他の主要日本自動車メーカー及び関連会社も当地でトヨタと同様に代理店を構えていることから、日本企業に対する公平性を確保するため、「トヨタ」のロゴ等、同社のプレイアップはせずに、あくまで水素を燃料に活用する日本の技術を紹介したもの。
- 来場した当地の次期大統領(当時国会議長)が高い関心を示し、「水素自動車はバスやトラックのみとの理解であったが、デザイン性・快適性を伴う乗用車は初めて見た。」との反応で、政府要人における日本の水素技術に関する関心惹起の機会ともなった。



＜トヨタのロゴ等は設置せず車体展示のみ＞



＜車体にはVodik(水素)とペイント＞



＜試乗するペレグリニ国会議長。外観に感銘を受け、自ら写真にポーズ＞

【日本企業の広報】

天皇誕生日祝賀レセプションの開催(ブルガリア)

在ブルガリア大使館

開催日: 令和6年2月23日

場 所: 在ブルガリア大使公邸

主催(共催): 大使館

協力/参加企業・自治体: 明治、SEGA、住友商事、矢崎総業、JETRO、
JNTO

【概要】

天皇誕生日祝賀レセプションを開催した際、和食や日本酒等を提供するとともに、ブルガリアを管轄するJETROブカレスト事務所の協力を得て、日本食材を紹介するブースを設けたほか、日本企業等から商品やパネルの展示、パンフレット提供など協力を得て、日本企業の紹介を行った。

レセプションには、首相、閣僚、元国王、国会議員などの要人とともに、約200人の財界関係者を含む約450人が参加し、幅広く日本企業の活動概要や日本食材などを紹介することができた。



【日本企業の広報】日本文化月間の開催(ブルガリア)

開催日: 令和6年7月5日～12月8日

場 所: ソフィア、主要地方都市

主催(共催): 在ブルガリア大使館(日本友の会)

協力/参加企業・自治体: アステラス、三菱電機、FANUC、住友商事、
スミアグロ・インターナショナル、ホンダ、マツダ、JTI、矢崎総業、武田薬品

在ブルガリア大使館

【概要】

第35回日本文化月間を開催。

各種日本文化関連団体を擁する日本友の会の支援を得て、日本の伝統文化・現代文化を紹介する様々な行事を7～12月の6か月間(なお、行事が集中的に開催されたのは9～11月の3か月間)、ブルガリア各地で25件のイベントを開催。計38,500名以上の参加者を得たほか、主要メディアにおける報道件数は120件以上。

行事内容の拡大・充実を図るべく、昨年につき日本企業の協賛を得るべくスポンサー確保に努め、16社及び1団体からの協力を得ることができた。これら企業・団体については、バナーを作成して、すべての行事開催時に会場に設置するとともに、これら協賛企業の協力をもって行事を開催している旨案内した。



„Adventure Comic Con” – най-цветното събитие в София

Президентският ден на България, 05.07.2024



【日本企業の広報】

講演会での日本企業GX分野の活動紹介(ポルトガル)

在ポルトガル大使館

開催日: 令和6年9月30日

場 所: 在ポルトガル大使館内講堂

主催: 在ポルトガル大使館

協力／参加企業: Marubeni Euro Power及びGems Biofuels

在ポルトガル大使館は「エネルギー転換、脱炭素化及び革新—持続可能性、エネルギー、シナジー」と題した講演会を開催しました。

帰国留学生との連携でリスボン大学高等技術研究所のジョアナ・ポルトガル・ペレイラ教授(東京大学で環境工学の博士号を取得した元日本政府奨学生)をメインスピーカーとし、エネルギー転換と低炭素イノベーションについて、また日本とポルトガルとのつながりについて講演をしていただく機会をとらえ、同分野で活躍するポルトガル進出日本企業からも登壇者を招きました。

丸紅ユーロパワー社のセリオ・ピント副社長からは、脱炭素と価値創造に焦点を当て、イベリア半島における丸紅のプロジェクトを御紹介いただきました。また、GALPと三井物産の合併会社であるGems Biofuelsの常陸悠介副社長からは、ポルトガルで計画されたプロジェクトに関連し、エネルギー転換とバイオ燃料にも焦点を当てて御講演を頂きました。

こうして再生可能エネルギーに関心がある当地の約30人(ポルトガル環境エネルギー副大臣室のスタッフや一部外交団を含む)の聴衆に対して、丸紅及び三井物産が果たすポルトガルでの同分野での活動と貢献についてアピールし理解を得る機会となりました。



本講演会のフライヤー